

令和4年第2回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和4年6月16日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1	<p>伊藤富志夫</p> <p>1. 生活困窮者自立支援について 現在の社会状況を考え、今後生活困窮者が増えていく事が考えられる。そこで聞きます。 (1) 生活困窮の相談対応はどうか (2) 自ら相談することの難しい人にも確実に支援する対応が求められているが、これらへの対応・対策はどうか。 (3) 対象者に応じた支援の必要性も求められているが、とりわけ新たな課題として8050問題や子供の貧困があげられている。町において、8050問題の実態とその対応はどうか。</p> <p>2. 浜厚真に計画されている風力発電について 令和3年3月に第1回の風力発電の学習会が行われ、ここで明らかにならなかった「人、家畜、自然（環境）への影響」についての第2弾の学習会を要望したが、まったく動きがありません。 (1) その学習会の予定・実施はどうか (2) ダイガスパワーソリューション(株)が風力調査を行って1年以上経つが、その後の結果や会社としての今後の動きについて町や住民への中間報告はないのか</p>	<p>収受 6/1</p>
2	<p>吉岡 茂樹</p> <p>1. 健全な行財政運営とは 宮坂町長が、町長選挙で当選して現在4期目となりますが、1期目、2期目、3期目までの後援会だよりを見ると、厚真町の将来像が描かれている。その中でも一番先に掲げているのは、「健全な行財政運営」を取り上げていた。 特に2期目には、町全体の地方債残高を113億円から101億円に削減を目指していたが令和3年度決算では、一般会計・特別会計を合わせると192億円まで膨らんでいるが、今後の地方債償還と第4次厚真町総合計画推進の兼ね合いを問う。</p>	<p>収受 6/8</p>

3	秋永 徹	<p>1. 農業振興対策について 世界的な新型コロナウイルスのまん延、中国・インドの輸出規制、ロシア・ウクライナ情勢の悪化による影響で原油・穀物・肥料の原材料などの相場が高騰、高止まり傾向が続いております。 また、食料品など生活用品の値上げなど町民生活に影響が出ている。 特に、第一次産業・農業では、燃油・飼料・肥料の昨年度より価格が高騰しています。令和4肥料年度(R4/6/1～R5/5/31)では、化学肥料11品目加重平均で102%の大幅な値上げになった。飼料では、昨年度から30～40%の値上げです。生産者の営農・生活を守るために町として営農支援をすべきだと思いますが町長の御所見を伺いたい。</p> <p>2. 水田活用直接支払交付金などの見直しについて 前回の定例会で質問させていただきましたが改めて質問させていただきます。</p> <p>1) 町村会、道、国など要請運動の状況 2) 厚真町農業再生協議会の協議状況 3) 具体的な案を生産者に提示しますが、対象生産者の意向調査をしなければならない。その上で、個別に丁寧に説明・提案を来年の営農に向けてすべきと思うが、どのようなスケジュールですか。 4) 5年に一度の水稲作付けに対して圃場整備経費など町が助成すべきかどうか。</p>	収受 6/8
4	下司 義之	<p>1. 自然環境保全について 19世紀初頭に絶滅の危機に瀕していた北海道のタンチョウは、保護活動により個体数が増加し道央圏にまで分布を広げるようになり、2011年には鶴川河口で2羽が越夏して以来、この周辺地域に定着し、毎年繁殖活動も確認されている。厚真町内でも2017年、4年ぶりに営巣が確認されこのタンチョウを研究者は厚真タンチョウと呼んでいる。 タンチョウの保護活動に対する町長の所見は。</p> <p>2. 環境教育について 学校・社会教育にタンチョウの住む町の取組みがされているか。</p>	

